

ID:	=患者情報!B1			( 【毎週】nab-PTX ) 療法				施行日	クール
患者氏名	=患者情報!B2		殿						
年齢 性別	=患者情報!B6	=患者情報!B7	=患者情報!B8	入院/外来	入力日	年	月	日	
疾患名					開始日	年	月	日	
クール	3	週	投与	1	週	休薬	診療科		
	備考	アブラキサン : Day1,8,15			医師名				
適応基準	<input type="checkbox"/> 1st Line <input checked="" type="checkbox"/> 2nd Line <input checked="" type="checkbox"/> 3rd Line以降 <input type="checkbox"/> 術前 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input checked="" type="checkbox"/> 進行 <input checked="" type="checkbox"/> 再発			告知の有無		P S	同意書取得	<input type="checkbox"/> 済	
		身長		cm	体重		kg	体表面積	0.00 m <sup>2</sup>
薬品名	単位	薬品名	単位	血液製剤に関する説明と同意書		<input type="checkbox"/> 済	外来化療加算	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> 対象外	
アブラキサン 100 (PTX:アルブミン懸濁型)	<input checked="" type="checkbox"/> mg/m <sup>2</sup> <input type="checkbox"/> mg/body							<input type="checkbox"/> HBs抗原 <input type="checkbox"/> HBs抗体 <input type="checkbox"/> HBc抗体	

**重要**

B型肝炎の再活性化(de novo B型肝炎)対策として、右記の検査が未実施の場合は、**全例スクリーニング対象**となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。  
※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。

## レジメン内容

順番	医薬品名	投与量	投与部位	投与スケジュール
①	デキサート注(3.3mg)	6.6mg	D.I.V	15分
	生理食塩水(50mL)	1瓶		
②	アブラキサン点滴静注用 (パクリタキセル:アルブミン懸濁型)	mg	D.I.V	30分
	生食液(100mL) ※	100mL		

※残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注

**血漿分画製剤のため、ロット番号の記録および保存が必要です。**

**調製法に注意して下さい。** ※アブラキサン点滴静注用 調製法参照  
1バイアル当たり20mLの生食液を抜き取ります。  
残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注して下さい。

**インラインフィルターは不要ですので、使用しないで下さい。**

	1-①	1-②	1-③	2-①	2-②		確認者	監査者
Day	1	8	15	22	29	36 ...		
アブラキサン	↓	↓	↓	↓	↓			

### 注意事項など

#### 【払出し～回収まで】

- Goが来たらアブラキサン注を棚から取り出し、管理簿へ記入＋シール貼付する。 ※事前準備はしない
- 注射箋薬剤部控えにロットシールを貼り、控えをコピーする。 ※控えコピーは「血液製剤(コピー)棚へ
- 看護部側へは、**注射箋・薬剤包装箱・ロットシール**を払い出す。  
※注射箋には「実施後、ロットシールを貼り薬局へ処方せんを戻して下さい」シールを貼付する。  
(混注業務は薬剤部のため、薬剤現物の搬送は発生しないため、包装箱にロットシールを貼付して払い出す)
- 看護部側は投与後、注射箋にロットシールを貼付し、薬剤部へ速やかに返却する。
- 薬剤部は、実施後の注射箋が戻ってきたら、ロットシールが貼付されていることを確認し、「血液製剤(戻り)棚」に入れる。